



ふわりの森アートプロジェクト3周年！ 「ALIVE CITY」イベントレポート！

アーティストトークが行われた当日、日本家屋ではマルシェも開催。地域や都内、海外から多くの人々がアートエリアに集結。
EVENT REPORT!

ふわりの森3周年 ALIVE CITY / 日本家屋を改装したアートハウス maison FUWARINOにて



シムラユスケ × 中村政人 対談「アートが生まれる地域での可能性」(次月にてロク特集号発行)



フラッグが地域の中に立ち芸術祭のエリアを広げる



mills ends 木材店・大工・金属加工の異業種若手経営者3名によるファニチャーブランド。ふわりマルシェでの商品の出品の他トークに使用された木のデザインテーブルも展示。トークの中で材質の良さが話題に。



各メディアも取材に訪れプロジェクトが発信されていく



同会場でも当日開催されたふわりマルシェ(プロジェクトスタッフ)アートプロジェクトではスタッフも募集中!詳しくは毎週末オープンartcafe TOAST AND HONEYにて。



NOLAND 農業を楽しむテーマパークをコンセプトに新鮮なトマトにデザインされたプロダクトで注目を集めるartcafe TOAST AND HONEYにてコラボメニューも登場!



photo by risako tani

現代アート+カフェ! アート作品とコーヒーの時間を楽しめるカフェ。
artcafe TOAST AND HONEY は毎週末(金、土、日+祝日)オープン! 行ってみよう!



1月6日(土)新年ふわりの森餅つき大会開催!
11:00からふるまいをスタート! アートカフェに行ってみよう!

【自家製パスタのランチが登場! ランチでアートを楽しもう】 詳しい情報はHPにて www.fuwarinomoriart.jp
TOAST AND HONEY 主宰のアーティスト、シムラユスケがランチタイムのシェフになり、地元トマト農園 NOLAND、地元野菜とコラボ! イタリア・ミラノでの滞在から自家製の手打ち生パスタをつくりランチメニューが登場! 店内のアート作品のナビゲートとランチを展開、アートを体感出来る限定ランチでアートカフェを楽しもう!

*ランチタイム 毎週末金・日+祝 11:00-14:00 L.O. 予約不要 14:00以降通常メニューでOPEN
*予約も可 tahpress@gmail.comにて御名前・連絡先・予約人数・来店日をお送りください。



|| NEXT || ロク 2月号予告...ふわりの森3周年「シムラユスケ × 中村政人」対談レポート



JR成田線 下総松崎駅 artcafe TOAST AND HONEY前にて(毎週末OPEN)

地域での記憶をアートで保管した作品へ 中村政人氏が JR 安食駅前のアートエレベーターに乗車

本誌連載特集中の成田空港圏初の現代アートプロジェクト「ふわりの森」。空港圏に誕生したアーティスト主体のアート拠点は4年目を迎え、次のステージへと舵をきった。空港からアクセス出来るアートエリアを開き世界へ繋ぐ。国内外で活躍するアーティスト、シムラユスケがディレクターを務めるアートエリアを形成しているプロジェクトは今大きく広がろうとしている。そのかたちのスタートラインを感じさせたふわりの森3周年「ALIVE CITY」を本号で特集!

トエレベーターが作品として迎えられる。共にアーティスト主体でプロジェクトを持ち、アーティストから社会へ都市構成を仕掛ける2人。エレベーターを前に中村氏は自身のプロジェクトにも欲しいと関心を持っていた。栄町とコラボレーションした作品は地域活性の起爆剤になる可能性を秘めている。

「スペースからプレイスへ」 芸術祭のスタートライン

3周年 ALIVE CITY 開催

アーツ千代田 3331統括ディレクター、アーティストの中村政人氏がJR安食駅におられた。この数年で多くのアーティストがこの駅を訪れ、ここではシムラユスケと栄町がコラボし誕生した話題のアー

今回のALIVE CITYは「Artist Live City」。アートが在る、アーティストが居る地域でアートを共有するということについて「これからやること・できること」を話題の2人が対談した。「アートが生まれる地域での可能性」をテーマに、この3年間を経てシムラユスケ氏は「1つのスベ



◀アートエレベーターの中に広がることもたちの絵と(栄町での記憶美術館プロジェクト)

▼シムラユスケ×栄町のコラボエレベーターの作品のコセットを語る



シムラユスケ PROFILE
1981年生まれ、アーティスト。東京、ニューヨークを拠点に写真、ドローイングの制作をはじめアジア、北欧、中東で作品を多数発表。アップルストアによる特集、吉田カバンとメディアコラボなど様々な注目を集める。2014年には海外に加え幼少期から育った国内(成田市・栄町)に拠点をもち、成田国際空港を中心に広がる大自然をフィールドに空港圏初の現代アートの拠点「ふわりの森アートプロジェクト」をスタート。2020年空港都市国際芸術祭「ふわりの森ARTPARADE」の総合ディレクターを務める。

中村政人 Masato Nakamura PROFILE
1963年生まれ、秋田県大館市出身。アーティスト。東京藝術大学絵画科教授。アートを介してコミュニティと産業を繋ぎ、文化や社会を更新する都市創造のしくみをつくり出す社会派アーティスト。第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本代表。平成22年度芸術選奨受賞。1997年よりアーティスト・イニシアティブ「コマンドN」を主宰。全国で地域再生型アートプロジェクトを多数展開し、2010年民設民営の文化施設「アーツ千代田3331」を創設。



▲JR成田線 安食駅前のシムラユスケ × 栄町のアートエレベーター前にて

ースであるギャラリー、カフェ、アートハウス、アートエレベーターを創って来ました。それらを1つのプレイス(場所)として繋ぎにし、地域としての場所をつくりだすこと。場所の繋がる気配をつくり創り上げることが次のステージだと感じています。今の時間を含め地域や多くの人と共有してきた記憶を見せられる芸術祭 ART PARADEを開き、自身のもつルーツの場所を再生し、アートで保存された記憶が世界へ広がる場所に出来たら嬉しいです。今回のALIVE CITYは多会場を繋ぐ地域の連携もありスタートラインが完成した期待を多く感じていますと語り、地域、ルーツの繋がる先が世界であり空港からアクセス出来る場としての次のステージへの自信を光らせている。

次号ではシムラユスケ×中村政人 対談特集をお届け! アートが町に誕生する!

3rd anniversary
HAPPY NEW YEAR

2018 ふわりの森芸術祭へのスタートライン
「スペース」から「プレイス」へ / シムラユスケ × 中村政人 ALIVE CITY